



## 兵役拒否・徴兵忌避をテーマに平和研究

いちかわ

### 法学部 法学科 教授 市川 ひろみ

兵役拒否について、国際比較・ジェンダー視点から考察  
平和研究ゼミで、学生と平和に向けた活動に取り組む

コメントできる  
研究領域

平和研究

兵役拒否

マイノリティー

性暴力

京都女子大学は、教員の研究活動や社会連携など“社会のための女子大学”の姿をお伝えするニュースレターを発信しています。今回は、政治学の分野で、国際関係論や平和研究を専門とする法学科の市川ひろみ教授をご紹介します。

#### ■ ウクライナ侵攻から2年。約20万人とされる兵役拒否者。兵役拒否の権利の保障は、内面の自由を尊重すること。

ロシアによるウクライナ侵攻後、ロシア・ウクライナ両軍で多くの人々が兵役拒否・徴兵忌避・脱走など、様々な形で徴兵から逃れようとしています。兵役拒否とは、代替役務(非戦闘役務・軍隊外の民間役務など)と、軍隊内での個別の命令拒否(選択的兵役拒否)があり、徴兵忌避は、徴兵登録逃れ・国外脱出・軍務のサボタージュなどを指します。市川教授は、徴兵制はパラドックス(逆説)を内在しており、国民の生命と内面の自由を保障すべき国家が、個人の自由を制限し武力行使を強制することは人権侵害にあたるかと考察しています。徴兵制において兵役拒否や徴兵忌避の権利を保障することは、戦争や戦争犯罪を防ぐ意味でも重要であり、軍人であっても、兵役時に不正なことをしたくないという内面の自由を侵害されない権利があります。2010年代以降、兵役拒否権が保証されず自国を離れた人が、オーストラリア、カナダ、ドイツなどで難民と認定されており、兵役拒否のために抑圧されることが、難民認定要件に当たると判断されるようになりました。市川教授は、ジェンダーの視点から考える兵役拒否についても考察しており、徴兵制の下では男性を支える立場とされる女性が徴兵制の議論に加わる難しさや、女性による兵役拒否宣言など、徴兵制がある韓国の研究者と共同研究を進めています。また、東アジアという枠組みでの兵役拒否についても、研究を始める予定です。

#### ■ かつて厳しい目が向けられた日本の徴兵忌避。徴兵を忌避した人も、命の尊厳を守ろうとした人。

日本でも、第二次世界大戦終戦まで徴兵制度がありました。国家・地域の管理・監視・統制が厳しく、追い詰められて身体毀損や自死を選ぶ人もいました。また、「兵役は名誉ある義務」という国家論理を教育現場で押し進めた社会で、「殺し・殺されたくない」「家族の生活を支えたい」という「私」を「公」よりも優先させた徴兵忌避者は、厳しい目を向けられました。日本と同じ敗戦国であるドイツでは、大戦時にナチスに抵抗した人は、ナチスに加担せず正しい選択をした人と捉えられています。しかし、日本ではそういった議論はされず、当事者が話をするこもはばかられており、私情を抑えて義務を全うした学徒兵や特攻隊員の方の話ばかりが注目されがちです。市川教授は、徴兵を忌避した人も、命の尊厳を重んじ、家族や愛する人の命を守ろうとした人であり、目を向けるべき人であると考えています。

#### ■ マイノリティーの視点から社会を捉える。学生による、朝鮮学校への本の寄贈や痴漢撲滅ポスターの制作。

市川ゼミでは、2013年から社会のマイノリティーである朝鮮学校の生徒との交流を続けており、2018年からは学生主導で本の寄付を募るパンフレットを作成・配布し、5年間で約4千冊の本を京滋の4校に贈っています。また市川教授は、従来の痴漢防止ポスターは、被害者に性暴力への対策を求めることで加害者を不可視化して被害者を追い詰めていると指摘し、2020年に京都府警鉄道警察隊、学生、教員でポスターの内容や表現について意見交換を行いました。学生はその学びを生かし、2021年から痴漢撲滅ポスターを制作しています。市川教授は、自らの偏見や思い込みに気づき、抑圧されたマイノリティーの視点から社会を捉えることで、社会変革への一歩を踏み出せるよう、学生を指導をしています。

#### 市川ひろみ (いちかわ・ひろみ) Profile

<http://gyouseki-db.kyoto-wu.ac.jp/Profiles/2/0000166/profile.html>

略歴 1964年生まれ。1991年3月神戸大学大学院法学研究科 修了、修士(政治学)、1993年ベルリン・フンボルト大学社会科学部研究科中退、1996年神戸大学大学院法学研究科 博士後期課程単位取得満期退学。今治明德短期大学助教授・准教授・教授を経て、2011年4月より現職。

論文 「日本における徴兵忌避—国家への異議申し立てとして—」(単著/2022年/『京女法学』)

「兵役拒否をめぐるアポリアーアポリアーの認定・無視・粉飾と回避・緩和・解決—」(単著/2014年/『京女法学』)

著書 『国際関係論のアポリアー思考の射程』(単著/2021年/晃洋書房)

『国際関係のなかの子どもたち』(共著/2015年/晃洋書房) 『兵役拒否の思想』(単著/2007年/明石書店)

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

・京都女子大学入試広報課 岡橋・竹縄

TEL: 075-531-7054 FAX: 075-531-7222

・京都女子大学広報デスク(プランニング・ホート内) 福嶋・井上

TEL: 06-4391-7156 FAX: 06-4393-8216

・京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp>